

# 想いに触れて

それぞれの公演を聴いた感想を会場でお聞きしました。

詩と音楽と谷川先生の魅力に感動しました。

谷川先生の詩をご本人の朗読で身近に聞けるといって貴重な体験ができました。谷川先生の魅力、谷川ワールドに引き込まれた感じがす。あっといふ間の時間でした。

その詩が書かれた時代や背景も聞くことができましたし、詩に音楽が加わることで深みが増し、情景も広がりました。朗読では特に『生きる』の詩に感動。日常で見ていることが命につながっていることを再確認できました。詩ってどこかところどころに感じもありませんが、もっと自然に受け止めていいんだということ学びました。私は学校などで読み聞かせの活動をしていますが、これからは自分かと思うように、素直に、楽しみながら読めたらいいと思います。



土居美穂子さん(赤池)

映画に込めた黒土監督の想いに共感しました。

それまで映画監督は遠い存在でしたが、今回、笑いあり、涙ありの黒土監督のお話を身近に感じる事ができ、無意識のうちにも何處もつなずきながら聞いていました。「子は親の背中を見て育つ」と言いますが、監督が映画の中に込めている根底の想いに触れ、大人がもっと本気で生きている姿を子どもたちに示すべきだと感じました。そして、家庭や地域での絆やつながりが希薄な今、私達は次世代に何を残すべきかを見極め、人として大切な物を守りながら、子や孫に伝えていかなければならないと実感しました。本当に心から感動した講演でしたし、このような機会や時間をさらに多くの方々と共有できればと思います。



柴田恭子さん(上野)

体験した人にしか語れない貴重な講演でした。

34年6か月の間、死刑囚として獄中で過ごし、無実の罪を晴らした免田さんのお話は、体験したものにしか分からない重さを感じました。罪のない人がありもしない罪をさせられ、刑罰と社会の非難をつける「冤罪」は、絶対にあつてはならない。許すことのできない人権侵害です。なのに今でも冤罪に追い込まれる人が後を絶たず、しかも、知的障害者など弱者が利用されるケースも少なくありません。私達は権力の都合のいいように裁かれることのないよう、裁判制度などの知識をもっと深めるべきだと実感しました。間もなく裁判員制度がスタートしますが、この国の人の裁き方が、よりよい方向に進んでほしいと思います。



原田正昭さん(伊方)

## 五感で感じる。コロナに響く公演があなたを待っています。

ある公演でこんな話を聞いたことがあります。「寒い日なんかは、つい、めんどくさい」と思ってしまうがちなお風呂。でも、入浴中や湯上がりの心地よさから、自分がお風呂に入ったことを後悔する人はほとんどいません。公演を聴くということは、このような感覚に似ているのではないのでしょうか。会場におもむくのが少々おっくう

に感じる時もありますが、いざ公演でその人の想いや表現に触れば、自分の心には、何かが届いてきます。人生を豊かに生きるための要素である、「創造性」や、「想像力」「判断力」などを培うためには、産まれたばかりの赤ちゃんにそれらの力がないように、「知識」や、「経験」「体験」などの蓄積が欠かせません。それらの蓄えが豊富なほ

どより、人生も豊かになります。公演を聴く機会は、それらのストックを増やすチャンスです。各分野で精通した人のお話しや表現を直接間近に見聴きできる公演は、文章を読み、映像で見ること以上の「何か」を感じられる貴重な体験の機会です。ですから、今回の特集で公演内容の一部を掲載しましたが、会場の雰囲気や興奮、あの感動は会場でしか味わうことができません。

そして公演は、毎日の生活の中で固執していた価値観や考え方を見直すための新鮮な空気のような効果もあります。「自分」という枠を出たときに、見えてくるものや気づくことが必ずあるはず。自分の人生観を高めたり、可能性や知識の幅を広げる一助になります。福智町では新年度も数々の公演が予定されています。町や関係団体が主催する公演は、全住民を対象としたものがほとんどです。開催は随時「広報ぶくち」などでお知らせしますので、「確認のうえ、お気軽にご参加ください。」

豊かな人生の弾みとなる公演、子どもたちの生きる力につながる公演をぜひお見逃しなく、感動に出会える会場、みなさんのお越しをお待ちしています。



ステージに集中し、熱心に耳を傾ける会場。新年度も町の公演にご期待ください!